

はなから にくす

No.114 2021.4
ISSN : 0287-8194

目次

「つべこべ言わずに『やれ』」(五丁 龍志)	1
大阪工業大学図書館紹介	2
図書館でレポート対策!	3
WEBで図書館を利用しよう!	4-5
君に薦める一冊の本(宮部 正洋)	6
工大ウォッチング大賞・ライブラリーサポーター募集	7
図書館からのお知らせ	8



「つべこべ言わずに『やれ』」

知的財産学部 知的財産学科

教授 五丁 龍志

私が講義でよく口にする言葉である。

われわれの知的財産学部では、知的財産のプロフェッショナルを育てるべく、講義を行っている。

高校を卒業して知的財産学部に入ってくる学生のほとんどは、知的財産についての知識についてはほぼ皆無である。

大学に対する社会の期待は、「戦力になる人材」にシフトしてきており、これは知的財産学部を卒業する学生に対する社会の期待も同様である。他の学部、たとえば工学部に入ってくる学生は、物理や化学、数学の基本知識を備えた学生が多く、その延長線上から教育がスタートするケースがほとんどであろう。これが、知的財産となると、全くの「ど素人」、社会に出て戦うための「知的財産の土台」はない。ここから社会の期待に「ある程度」答えられるレベルまで育成するという、スタートからゴールまで「ず〜っと猛ダッシュ」の教育が必要となる。授業を行う教員も大変だが、その講義についていき、伸びなければならぬ学生の負荷は計り知れない。

知的財産のプロフェッショナルと大風呂敷を最初に広げたのだが、知的財産といえばやはり「特許」が主の世界。この世界は「技術」「法律」「経済」の中間領域であり、特に「知識の活用」のステージでは、それぞれの「知識」を応用して適用することが要求される。大学受験のために覚え、詰め込む知識重点型の「お勉強」に慣れた学生は、はじめて学ぶ「特許法」も一生懸命詰め込む。最初の2年弱はこのような土台となる知識をつけることからスタートする。2年生の後半からは、いよいよため込んだ知識を実践する「活用ステージ」に入る。

たとえば、技術者があなたのもとに持ってきた実験データ

から、どのように発明(≡特許のネタ)をより多く掘り起こすのか、どのように法律のルールにのっとった手続きをするのか、特許庁から「特許にならない発明だ」を言われたときにどのように反論し突破するのか、他人から特許侵害だと攻められるリスクをどのように軽減し回避するのか、などなど。

どれをとっても、法律には「やり方」は書いていない。これを身につけるには、「知識の応用」と「実践」が必要である。

簡単な題材を用意し、やってみせることで手順を見せ、判断をしてみせる。2年生後半からの講義は、このような実践型の講義を行い、それぞれの実践スキルを習得させるために「自分の手と頭」とを総動員して身につけさせる展開をする。それぞれのトピックについて、最後にはすべて自分でやった「レポート」の提出を課すが、それ以外にも「やらせたい」ので、途中であの手この手で題材を提供する。

ここで、多くの学生が戸惑うのが「やってみること」。「お勉強」に慣れてきた学生は、実例に知識を応用してこねくり回す「実践」に戸惑うようである。一生懸命、「やらない理由」を考える。そこで冒頭のくだりである。

「つべこべ言わずに『やれ』」

文字に起こせない「感覚」、やってみてはじめて分かる「考え方」「使い方」。講義を展開する「こちらサイド」の力不足が故に「やって掴め」という、悪く言えば「逃げ口上」の一言なのである。

幸い、やってみた学生は「ああ、簡単やん!そういうことね!!」と霧が晴れることが多いのが救いである。

教育は奥が深く底なしであると、つべこべ言わずに「やってみて」実感する日々である。

大阪工業大学図書館紹介

メインカウンター

▼大宮本館



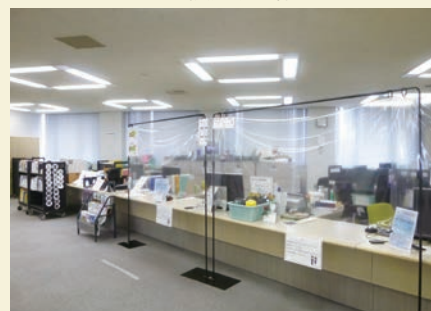
8号館の2～4階が大宮本館です。

▼梅田分館



OITタワー6階が梅田分館です。

▼枚方分館



1号館の3～4階北側が枚方分館です。

メインカウンターでは、図書の貸出・返却だけでなく、文献複写や他大学からの取り寄せの依頼、ライブラリーサポーターの申し込みを受け付けています。また、大宮本館・枚方分館では、保存書庫にある図書の閲覧を申し込むこともできます。梅田分館では、自動貸出返却機が設置されており、自分で本の貸出・返却ができます。大宮本館の2階学術雑誌室の利用は、3階入館ゲートから入館し螺旋階段をご利用ください。図書館の利用について分からないことは、図書館スタッフまでお問い合わせください。

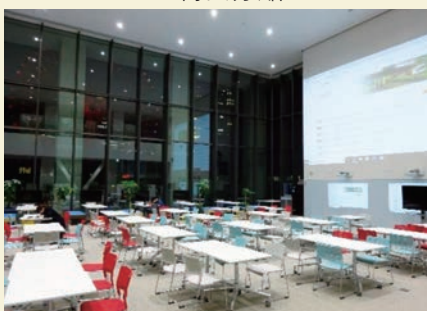
ラーニング・commons

▼大宮本館



8号館の4階です。

▼梅田分館



OITタワー6階です。

▼枚方分館



1号館の4階です。

ラーニング・commonsは、授業や自習、グループや個人等、多様な学習ニーズに応える空間です。大宮本館では、PCコーナーや自習コーナー、プレゼンテーションルーム等があり、最大100名が使えるグループ学習エリアがあります。梅田分館は吹き抜けになっており、380インチのプロジェクターを使用して、授業や卒業研究の発表など各種イベントを行うことができます。また、モニター付きのコミュニケーションブースがあり、PCとモニターを接続して利用することができます。枚方分館では、利用目的によって異なるブースが点在しており、プロジェクターを使ったプレゼンテーションも可能です。

その他施設

▼大宮本館 AVコーナー



8号館2階のAV室では、DVDやCD等が視聴できます。自習コーナーでは、リスニング学習に加えて自由に持ち込み学習も可能です。

▼枚方分館 リスニングコーナー



館内のAVパークでは、DVDやビデオなど視聴覚資料が利用できます。また、リスニングコーナーでは、CDを聴くことができ、語学学習に使っていただけます。

図書館紹介動画

各図書館の紹介動画を
作成しました。
是非、ご覧ください。



※学内もしくは、
学外VPNからのみ
アクセスが可能です。

図書館でレポート対策！

図書館を活用して試験・レポート対策をしてみませんか？

大学の試験は形式に決まりがなく、その形は授業や担当教員によってさまざま。

特にレポートは、文献を正しく参照・引用し、根拠に基づいて論を組み立て、展開していく必要があります。

字数も多く不安に感じる方も多いと思いますが、図書館を上手に活用してみましょう！

作成過程の中から以下4つについて、図書館お役立ちポイントをご紹介します。

1 テーマの設定

テーマがあらかじめ指定されている場合はより具体的なテーマを、自分で決める場合は関心のあるテーマを、図書館を活用して、見つけましょう

- シラバスコーナー
 - ・ 参考書に指定されている図書を読む
- PCコーナー
 - ・ データベースを活用し、関心のあるテーマの新聞・雑誌記事を検索する
 - ・ OPAC を活用しテーマに関する概説書の所蔵有無を検索する

具体的なテーマ設定

文献の入手

文献の読解・整理

仮アウトライン作成

調査・研究

不足文献の入手

再調査・研究

最終アウトライン作成

執筆・校正・出典の表示

仕上げ

2 文献の入手

具体的なテーマが決定したら、直接的に関係する文献を集めましょう

■ PCコーナー

- ・ 参考文献として挙げられていた図書を探す
 - ・ データベースや電子ジャーナルで関連論文を探す
- 図書館HPのTOP画面からアクセス可能です！



論文 CiNii Articles/J-DreamⅢ/
国立国会図書館リサーチなど

雑新聞 聞蔵Ⅱビジュアル/日経テレコン 21/
日経BPバックナンバーライブラリなど

3 調査・研究

図書館の各コーナーを利用して根拠となる資料やデータを揃えましょう

- 白書コーナー
 - ・ 政府が発行する経済や産業などの公式な調査報告書である「白書」を利用してデータを探す
- 参考図書コーナー
 - ・ 辞書や図鑑を参照する
- PCコーナー
 - ・ web上で公開されているデータ・分析等を調べる

4 不足文献の入手・整理等

工大に所蔵していない文献は、学园内だけでなく、他大学の図書館に“図書の取り寄せ”や“図書・論文の複写”を依頼することができます。関連する図書は1つでも多く収集したいものです。ぜひ積極的に活用してみましょう

■ 方法①

My Libraryからの申し込み



■ 方法②

図書館カウンターでの申し込み

『図書館クイックガイド』は、図書館を使いこなすための「虎の巻」です。



図書館クイックガイド

便利な図書館の利用方法を多数ご紹介しています。館内に設置していますので、ご自由にお取りください！

OPAC検索方法動画

OPACの使い方を動画にてご紹介しています。是非、ご活用ください！

OPAC検索方法動画はこちら



※学内もしくは、学外VPNからのみアクセス可能です。

My Library

大阪工業大学に所属している学生・教職員が利用できるサービスです。利用にあたり、学生は情報センター交付のIDとパスワードが、教職員は図書館でのパスワード申請が必要です。詳しくは図書館スタッフにお問合せください。

My Libraryでは以下のサービスが利用できます。

- OPACを使った図書の検索
 - 借りている図書や予約中の図書等、利用状況の確認
 - 他大学からの図書の取り寄せ依頼
 - 文献複写の依頼
 - 図書館からのお知らせの確認
 - ライブラリーサポーターへの応募
 - ラーニング・コモンズの予約状況の確認
- その他リンクへのアクセスもできます。



図書の検索

本のタイトルやキーワードを入力すると、簡単に図書の検索ができます。また、表示された本のタイトルをクリックすると、その本の詳細が確認できます。



図書の予約

借りたい本が貸出中の際には図書の予約をすることができます。予約している図書が返却された際には学内メールにて通知が届きます。



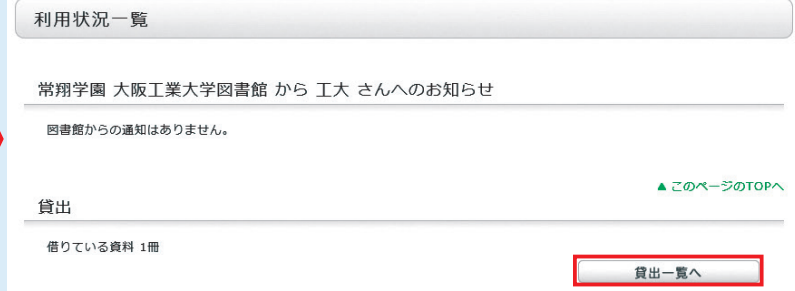
を利用しよう!

貸出期間の延長

貸出中の図書を延長したい場合は、次に予約がなければ、図書館に来なくてもMy Libraryから延長の申請ができます。

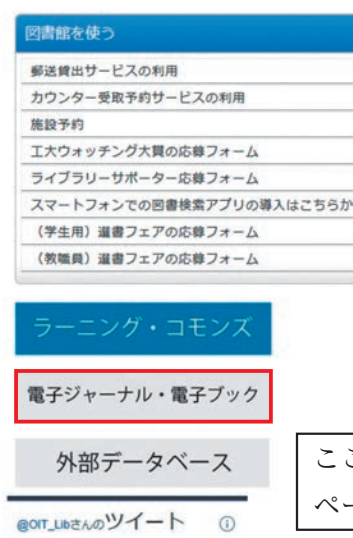


利用状況の確認



電子ブック 電子ジャーナル

本学が契約している電子ジャーナル及び電子ブックを閲覧することができます。また、オープンアクセス（無料で閲覧）のタイトルも検索ができます。



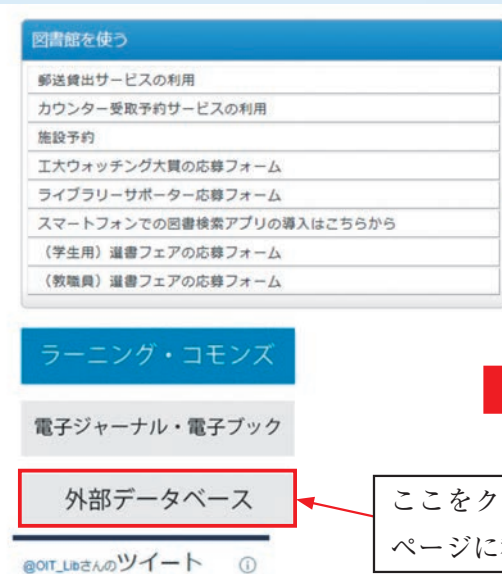
ここをクリックすると一覧ページに移動します。

電子ジャーナル・電子ブック

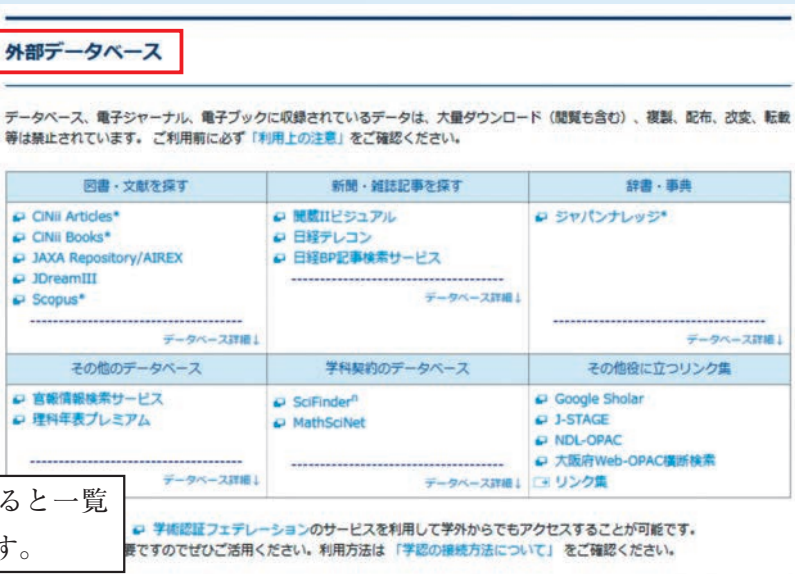


データベース

外部データベースでは、様々なジャンルの雑誌論文や新聞記事等が検索できます。また、辞書・事典や、海外文献も検索できるツールが揃っていますので、是非ご活用ください。



ここをクリックすると一覧ページに移動します。



君に薦める 一冊の本



工学部
機械工学科 教授
宮部 正洋

学生の皆さんにお薦めしたい本は山ほどあるので一冊を選ぶとなると、とても難しいのですが、悩んだ末にカール・セーガンの『コンタクト』を選びました。それは、私にとって一つのハブを形成しているものだからです。

ところで、大阪工大の工学部が考えるリベラルアーツとは？
(<https://www.oit.ac.jp/human/subject/liberalarts.html>)
に以下の記述があります。

『AIやロボット工学の最先端技術の領域においても、ただ闇雲に技術開発を進める力ではなく、上述の階層社会化を回避する社会デザインへの配慮や、多様性を持った社会を俯瞰する文理融合的な思考のセンスや解決能力が求められるはず。こうした物事の捉え方や、解決能力の基礎をなすものがリベラルアーツです。』このような力を身に着けることが求められています。

さて、私が本を沢山読んだのは、大学生の頃です。竹内均先生が提案された、「つるつるぐり読書法」を実践していました。何かに対して強い思い入れがなかった私は、その時その時の興味の赴くままに様々な種類の本を読みました。本を読み進めると、その中で引用される言葉、思想や人物等々、何かとても惹かれるものが現れます。そんなときに読んでいた本をちょっと脇に置いて、今、新たに興味を持ったことに関する本を探して読み進めてゆくというスタイルでした。読み疲れると、全く別のジャンルの本を読んで気分を変えたりしていたため、数冊の本を平行して読んでいました。そのように過ごしていた頃にカール・セーガンのSF小説、『コンタクト』に出会いました。

『コンタクト』



【大宮本館】

上巻

配置場所 | 工大一般図書

請求記号 | 933IISII*

資料ID | 18605208

下巻

配置場所 | 工大一般図書

請求記号 | 933IISII***

資料ID | 18604734

著者名 | カール・セーガン

出版社 | 新潮社

出版年 | 1986年

地球外知的生命体からの信号に素数が使われているという設定を読んで素数に興味を持ち、リーマン予想やゼータ関数について調べ、わかっていること、わからないことを知ることによって数学の美しさ、面白さに触れることができた気がしました。

また、主人公が宇宙からの信号を受信したと公表したことで、政治、科学と宗教が複雑にからんで物語がダイナミックに流れて行く過程や、研究と実学とのせめぎ合いなどの描写がとても魅力的で興奮しました。人々の考え方となる根本的なものに惹かれ、哲学、現代思想や文化人類学について興味深く調べました。もちろん浅い知識を部分的に得たにすぎないのですが、以前から気にかけていたことを少し深掘すると成長した気になりました。

さらに、宇宙からの信号の暗号を解読すると輸送装置の設計図であることがわかりました。時空間の連絡通路としてワームホール、ポッドが落下する時間の説明には相対性理論が使われており、宇宙論にも興味を持ちました。平たく説明している入門書から専門書まで読み、相対性理論や量子力学について調べました。双子のパラドクス、タイムマシン、シュレディンガーの猫やアインシュタイン対ボーアの論争など、とても興味深い話題に事欠かないことから、多くの関連書籍を楽しく読むことができました。

『コンタクト』は様々な分野に対する好奇心を刺激する内容になっていると思いますので、異次元空間で皆さんとリベラルアーツを引き合わせ、それぞれの固有振動数で大きく共振するのではないかと思います。

工大ウォッチング大賞とは、学生の皆さんが思い描く「工大」のイメージを若い感性と自由な発想で表現してもらい、多くの人たちに工大の良さを再発見してもらうことを目的としたイベントです。

2020年度の工大ウォッチング大賞のテーマは「大阪工業大学」で、新型コロナウイルス感染症拡大防止によりオンライン授業が主体となる中、自宅からでも応募できるようにWebで受付を行いました。

たくさんのご応募、ありがとうございました！

応募された作品は、大宮本館2階のギャラリーで展示しています。ぜひご覧ください。

工大 2020年度 ウォッチング 大賞



▲ギャラリーにおける展示の様子。
2021年1月から2021年7月末まで展示しています。

▼写真やイラストなどの応募がありました。



ライブラリーサポーター募集！ ～その活動内容とは？～

ライブラリーサポーターとは、図書館でボランティア活動を行っている学生のことです。学生の目線でより良い図書館を作ることを目的としています。図書館に所蔵したい本の選書や書架整理、ビブリオバトルなどのイベント開催やフリーペーパー「Libe!」の発行、オリジナルしおりの作成など、様々な活動をしています。活動状況によっては大学公認の「業務証明書（アチーブメントシート）」が交付されますので、就職活動の自己アピールとしても役立ちます。

自分たちでやってみたいことを立案して実行できる、
やりがいたっぷりのライブラリーサポーターで良いキャンパスライフを！

ビブリオバトルは自分のおすすめの本を紹介し、一番視聴者に読みたいと思わせた人が勝ちのイベント。サポーターは企画から実施までこなします。



サポーターが企画する本の展示を行っています。展示のテーマはサポーターが自由に決めています。



梅田にあるロボットはサポーターが組み立てました。ぜひ話しかけてみてね！



大宮本館発行の「Libe!」は学生による学生のためのフリーペーパーです。内容はサポーターが自由に決めています。



枚方分館発行のフリーペーパー「Libe! in Hirakata」です。大宮本館と同様、サポーターが企画から発行まで行います。

サポーターは随時募集中！
活動に興味のある方は各館の図書館スタッフへお気軽にお尋ねください！
カウンターで申込用紙の記入の他、二つ折りの申込カードの提出、またはWebからも応募できます。



＼申込カードはピンクと黒のおしゃれな表紙が目印！／

ライブラリーサポーター応募フォームはこちら

図書館からのお知らせ

特集展示の紹介

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントなどがやむをえず中止される中、特集展示に力を入れました。大宮本館では、ライブラリーサポーターと協力し「舞台へのお誘い」というタイトルに合わせ舞台化された本などを並べ、展示も劇場風に目立つように工夫しました。

梅田分館では、「原作本コーナー」を設置しています。この機会に映画やドラマの原作を読んでほしいという思いで展示しました。

枚方分館では、勉強目的だけではなく英語をより身近に感じられ「英語を楽しむ」ことができるような本を展示しました。



梅田分館



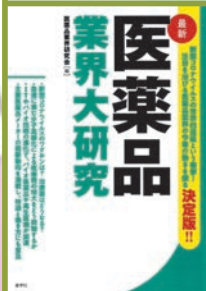
大宮本館



枚方分館

選書フェアの紹介

2020年は「Web de 選書フェア2020」と題し、工大で初めてWebで開催しました。応募件数は、大宮本館・梅田分館・枚方分館を合わせて38件の応募がありました。応募していただいた皆様、ありがとうございました。



『最新医薬品
業界大研究』
著者名
医薬品業界研究会編
出版社
産学社



『SDGs 日本の
挑戦2020』
著者名
日経HR編集部
出版社
日経HR

選書された本の一例です

学科展示

大宮本館では2階玄関ホールにて機械工学科3年生によるPBL(課題解決型学習)の作品を4月26日(月)まで展示しています。



ブログの紹介

ブログはWeb上にオリジナルの本棚を作るサービスです。図書館がおすすめする本などをブログ感覚で紹介しています。2020年度には、新たに「大宮61冊、梅田86冊、枚方245冊」の本棚登録を行いました。大宮本館では、工学関係（電気機器学や基礎物理学など）の本を多く登録しました。梅田分館では、デザイン系（デザインレイアウトや建築関係など）の本を多く登録しました。枚方分館では、2020年度に実施した企画展示の本を登録しました。

大宮
本館



梅田
分館



枚方
分館



大阪工業大学図書館報「ぱびろにくす」No.114 (2021.4)
編集発行 大阪工業大学図書館
〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16-1 TEL 06-6954-4108 FAX 06-6953-9499
<http://www.oit.ac.jp/japanese/toshokan/index.html>



図書館公式Twitter @OIT_Lib